

No.	移行ファイル名	説明	データ項目の改定 (○:改定有り)
1	<a href="#">住民基本台帳情報ファイル</a>	該当市区町村の住民情報(住登者/外国人)の最新情報すべて	
2	<a href="#">住登外登録情報ファイル</a>	住登外者	
3	<a href="#">被保険者情報ファイル</a>	後期高齢者医療の被保険者情報	
4	<a href="#">所得 課税情報ファイル</a>	後期高齢者医療の被保険者の保険料および一部負担割合算定に必要な情報	
5	<a href="#">送達物管理ファイル</a>	送達物に関する管理情報	
6	<a href="#">送付先情報ファイル</a>	通知書等の郵便物送付先の情報	
7	<a href="#">連絡先情報ファイル</a>	個人の連絡先情報	
8	<a href="#">口座情報ファイル</a>	保険料徴収で使用する口座情報	
9	<a href="#">特記情報ファイル</a>	個人に関するメモ等の情報	
10	<a href="#">保険料情報ファイル</a>	保険料算定結果の情報および賦計算の元となる情報	
11	<a href="#">普徴申請者情報ファイル</a>	普徴申請に関する管理情報	
12	<a href="#">期割情報ファイル</a>	市区町村が実施した期割保険料の情報	
13	<a href="#">収納履歴情報ファイル</a>	収納に関する履歴情報	
14	<a href="#">過誤納情報ファイル</a>	過誤納に関する情報	
15	<a href="#">還付充当情報ファイル</a>	還付充当に関する情報	
16	<a href="#">滞納者情報ファイル</a>	市区町村が管理している保険料滞納者の情報	
17	<a href="#">処分管理情報ファイル</a>	保険料に関する処分情報	
18	<a href="#">徴収猶予情報ファイル</a>	市町村側で行っている徴収猶予事務に関する情報	
19	<a href="#">特別徴収該当者情報ファイル</a>	市町村側で特徴該当として、依頼した者を基礎年金番号と紐づける情報	

データ項目一覧表		業務名					移行ファイル名		バージョン	
		後期高齢者医療					住民基本台帳情報ファイル		V2.7	

No.	データ項目名称	データ型	桁数	外字使用	コード	必須 <sup>(○)</sup> ／任意 <sup>(△)</sup> [空白]	繰り返し <sup>(△)</sup> [2以上の連 名の非記載]	項目説明	サンプル値	備考
1	個人区分コード	X	1		個人区分コード	○		個人区分コードを設定する。	1	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
2	宛名番号	X	16			○		個人を特定する番号を左詰で設定する。	1234567890	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
3	世帯番号	X	16			○		世帯を特定する番号を左詰で設定する。 同じ世帯番号がセットされている場合は、個人区分に関係なく同一世帯とみなす。	2345678901	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
4	氏名カナ	N	40			○		氏名(カナ)を全角文字で設定する。	サトウ タロウ	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
5	通称名カナ	N	40			○		空白または通称名(カナ)を全角文字で設定する。 本名通称名区分が「1:通称名」のとき必須とする。	サトウ ハナコ	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
6	氏名漢字	N	40	○		○		氏名(漢字)を全角文字で設定する。 姓、名の間に全角スペースを1つ設定する。	佐藤 太郎	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
7	通称名漢字	N	40	○		○		空白または通称名(漢字)を全角文字で設定する。 本名通称名区分が「1:通称名」のとき必須とする。	佐藤 花子	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
8	本名通称名区分コード	X	1		本名通称名区分コード	○		本名通称名区分コードを設定する。	1	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
9	外国人区分コード	X	1		外国人区分コード	○		外国人区分コードを設定する。	0	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
10	生年月日年号コード	X	1		生年月日年号コード	○		生年月日年号コードを設定する。	3	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
11	生年月日	X	8			○		生年月日(西暦)を設定する。 生年月日は実在日を設定する。	19350101	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
12	生年月日設定フラグ	X	1			○		生年月日が不明な場合などで便宜上の日付を設定している場合は1を、それ以外は0を設定する。	0	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
13	性別コード	X	1		性別コード	○		性別コードを設定する。	1	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
14	続柄1コード	X	2		続柄コード	○		続柄コードを設定する。 最大4世代設定する。2世代目以降は空白も可とする。	01	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
15	続柄2コード	X	2		続柄コード	○		続柄コードを設定する。 最大4世代設定する。2世代目以降は空白も可とする。	10	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
16	続柄3コード	X	2		続柄コード	○		続柄コードを設定する。 最大4世代設定する。2世代目以降は空白も可とする。	30	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
17	続柄4コード	X	2		続柄コード	○		続柄コードを設定する。 最大4世代設定する。2世代目以降は空白も可とする。	70	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
18	異動年月日	X	8			○		異動年月日(西暦)を設定する。 転出取消の場合は、転出の異動年月日と同日を設定する。	20100101	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
19	異動届出年月日	X	8			○		異動届を受理した日(西暦)を設定する。	20100101	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
20	異動事由コード	X	3		住基異動事由コード	○		住基異動事由コードを設定する。	001	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
21	世帯登録区分コード	X	1		世帯登録区分コード	○		世帯登録区分コードを設定する。 転居、世帯合併、世帯分離、世帯構成変更等、世帯構成を変更する場合に、コードを設定する。その他の異動の場合は空白を設定する。	1	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
22	住民年月日	X	8			○		住民となった日(西暦)を設定する。 外国人住民は外国人住民となった日(西暦)を設定する。	20100101	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
23	消除年月日	X	8			○		消除された日(西暦)を設定する。 消除されている場合は必須とする。	20111231	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
24	現都道府県コード	X	2			○		現住所の都道府県コードを設定する。	13	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
25	現市区町村コード	X	3			○		現住所の市区町村コードを設定する。	101	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
26	現町名コード	X	10			○		現住所の町名コードを設定する。 町名コードの設定方法については市区町村で任意のコードを設定する。	1234567890	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
27	行政区コード	X	6			○		現住所の行政区コードを設定する。 行政区コードの設定方法については市区町村で任意のコードを設定する。	123456	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
28	現都道府県名	N	4			○		現住所の都道府県名(漢字)を設定する。	東京都	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
29	現市区町村名	N	12			○		現住所の市区町村(漢字)を設定する。	東西市	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
30	現住所	N	100	○		○		現住所の住所(漢字)を設定する。 都道府県、市区町村名(政令指定都市の区名)を除いた住所を設定する。	南町中央1-1-1	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
31	現郵便番号	X	7			○		現住所の郵便番号を設定する。	1020072	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
32	転入前都道府県コード	X	2			○		転入前の都道府県コードを設定する。 国外の場合は「99」、不明の場合は「00」を設定する。 転入している場合は必須とする。	13	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
33	転入前市区町村コード	X	3			○		転入前の市区町村コードを設定する。 国外の場合は「999」、不明の場合は「000」を設定する。 転入している場合は必須とする。	103	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用

データ項目一覧表	業務名						移行ファイル名	バージョン
	後期高齢者医療						住民基本台帳情報ファイル	V2.7

No.	データ項目名称	データ型	桁数	外字使用	コード	必須○ ／任意 [空白]	繰り返し [2回以上の場 合のみ記載]	項目説明	サンプル値	備考
34	転入前都道府県名	N	4			○		転入前の都道府県名(漢字)を設定する。 転入している場合は必須とする。国外転入の場合は空白も可とする。	東京都	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
35	転入前市区町村名	N	12			○		転入前の市区町村名(漢字)を設定する。 転入している場合は必須とする。国外転入の場合は空白も可とする。	港区	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
36	転入前住所	N	100	○		○		転入前の住所(漢字)を設定する。 都道府県、市区町村名(政令指定都市の区名)を除いた住所を設定する。 転入している場合は必須とする。国外転入の場合は空白も可とする。	赤坂1-1-1	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
37	転入前郵便番号	X	7					転入前の郵便番号を設定する。	1070052	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
38	転出先都道府県コード	X	2			○		転出先の都道府県コードを設定する。 国外の場合は「99」、不明の場合は「00」を設定する。 転出している場合は必須とする。	13	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
39	転出先市区町村コード	X	3			○		転出先の市区町村コードを設定する。 国外の場合は「999」、不明の場合は「000」を設定する。 転出している場合は必須とする。	102	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
40	転出先都道府県名	N	4			○		転出先の都道府県名(漢字)を設定する。 転出している場合は必須とする。国外転出の場合は空白も可とする。	東京都	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
41	転出先市区町村名	N	12			○		転出先の市区町村名(漢字)を設定する。 転出している場合は必須とする。国外転出の場合は空白も可とする。	中央区	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
42	転出先住所	N	100	○		○		転出先の住所(漢字)を設定する。 都道府県、市区町村名(政令指定都市の区名)を除いた住所を設定する。 転出している場合は必須とする。国外転出の場合は空白も可とする。	明石町1-1-1	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
43	転出先郵便番号	X	7					転出先の郵便番号を設定する。	1040044	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
44	国籍コード	X	3		国籍コード	○		空白を設定する。 外国人住民は国籍コードを設定する。	001	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
45	在留資格コード	X	3		在留資格コード	○		空白を設定する。 外国人住民は在留資格コードを設定する。	001	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
46	在留期間	X	8					空白を設定する。		後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
47	在留終了年月日	X	8			○		空白を設定する。 外国人住民の中长期在留者(永住者除く)は在留終了年月日(西暦)を設定する。	20111031	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
48	市区町村作成年月日	X	8			○		市区町村側のデータ作成日を設定する。	20120101	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
49	市区町村作成時刻	X	6			○		市区町村側のデータ作成時刻を設定する。	120000	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
50	個人番号_未使用	X	12					空白を設定する。		
51	予備	X	86					空白を設定する。		後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用

データ項目一覧表		業務名					移行ファイル名		バージョン	
		後期高齢者医療					住登外登録情報ファイル		V2.7	

No.	データ項目名称	データ型	桁数	外字 使用	コード	必須○ /任意 [空白]	繰り返し [2桁以上の場 合のみ記載]	項目説明	サンプル値	備考
1	個人区分コード	X	1		個人区分コード	○		個人区分コードを設定する。	3	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
2	宛名番号	X	16			○		個人を特定する番号を左詰で設定する。	1234567890	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
3	世帯番号	X	16			○		世帯を特定する番号を左詰で設定する。 同じ世帯番号がセットされている場合は、個人区分に関係なく同一世帯とみなす。	2345678901	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
4	氏名_カナ	N	40			○		氏名(カナ)を全角文字で設定する。	スズキ タロウ	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
5	通称名_カナ	N	40			○		通称名(カナ)を全角文字で設定する。 本名通称名区分が「1:通称名」のとき必須とする。	スズキ ハナコ	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
6	氏名_漢字	N	40	○		○		氏名を全角文字で設定する。 姓、名の間に全角スペースを1つ設定する。	鈴木 太郎	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
7	通称名_漢字	N	40	○		○		通称名を全角文字で設定する。 本名通称名区分が「1:通称名」のとき必須とする。	鈴木 花子	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
8	本名通称名区分コード	X	1		本名通称名区分コード	○		本名通称名区分コードを設定する。	1	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
9	外国人区分コード	X	1		外国人区分コード	○		外国人区分コードを設定する。	0	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
10	生年月日年号コード	X	1		生年月日年号コード	○		生年月日年号コードを設定する。	3	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
11	生年月日	X	8			○		生年月日(西暦)を設定する。 生年月日は実在日を設定する。	19350101	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
12	生年月日設定フラグ	X	1			○		生年月日が不明な場合などで便宜上の日付を設定している場合は1を、それ以外は0を設定する。	0	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
13	性別コード	X	1		性別コード	○		性別コードを設定する。	1	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
14	続柄1コード	X	2		続柄コード	○		続柄コードを設定する。 最大4世代設定する。2世代目以降は空白可とする。	01	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
15	続柄2コード	X	2		続柄コード	○		続柄コードを設定する。 最大4世代設定する。2世代目以降は空白可とする。	10	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
16	続柄3コード	X	2		続柄コード	○		続柄コードを設定する。 最大4世代設定する。2世代目以降は空白可とする。	30	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
17	続柄4コード	X	2		続柄コード	○		続柄コードを設定する。 最大4世代設定する。2世代目以降は空白可とする。	70	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
18	異動年月日	X	8			○		異動年月日(西暦)を設定する。 転出取消の場合は、転出の異動年月日と同日を設定する。	20100101	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
19	異動届出年月日	X	8			○		異動届を受理した日(西暦)を設定する。	20100101	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
20	異動事由コード	X	3		住登外異動事由コード	○		住登外異動事由コードを設定する。 国保住所地特例者として初めて連携される住登外登録情報の場合、「004:職権記載」を設定する。	001	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
21	世帯登録区分コード	X	1		世帯登録区分コード	○		世帯登録区分コードを設定する。 転居、世帯合併、世帯分離、世帯構成変更等、世帯構成を変更する場合に、設定する。その他の異動の場合は空白を設定する。	1	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
22	住民年月日	X	8			○		住民となった日(西暦)を設定する。 外国人住民は外国人住民となった日(西暦)を設定する。 国保住所地特例者の場合、住所地特例施設所在の市区町村の住民となった日を設定する。	20100101	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
23	消除年月日	X	8			○		消除された日(西暦)を設定する。 消除されている場合は必須とする。	20111231	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
24	現都道府県コード	X	2			○		現住所の都道府県コードを設定する。	13	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
25	現市区町村コード	X	3			○		現住所の市区町村コードを設定する。	101	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
26	現町名コード	X	10			○		現住所の町名コードを設定する。 町名コードの設定方法については市区町村で任意のコードを設定する。	1234567890	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
27	行政区コード	X	6			○		現住所の行政区コードを設定する。 行政区コードの設定方法については市区町村で任意のコードを設定する。	123456	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
28	現都道府県名	N	4			○		現住所の都道府県名(漢字)を設定する。	東京都	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
29	現市区町村名	N	12			○		現住所の市区町村(漢字)を設定する	東西市	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
30	現住所	N	100	○		○		現住所の住所(漢字)を設定する。 都道府県、市区町村名(政令指定都市の区名)を除いた住所を設定する。	東西市北町中央1-1-1	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
31	現郵便番号	X	7			○		現住所の郵便番号を設定する。	1020072	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
32	転入前都道府県コード	X	2			○		転入前の都道府県コードを設定する。 国外の場合は「99」、不明の場合は「00」を設定する。 転入している場合は必須とする。	13	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用

データ項目一覧表	業務名						移行ファイル名	バージョン
	後期高齢者医療						住登外登録情報ファイル	V2.7

No.	データ項目名称	データ型	桁数	外字使用	コード	必須○ ／任意 [空白]	繰り返し [2回以上の場 合のみ記載]	項目説明	サンプル値	備考
33	転入前市区町村コード	X	3			○		転入前の市区町村コードを設定する。 国外の場合は「999」、不明の場合は「000」を設定する。 転入している場合は必須とする。	103	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
34	転入前都道府県名	N	4			○		転入前の都道府県名(漢字)を設定する。 転入している場合は必須とする。国外転入の場合は空白も可とする。	東京都	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
35	転入前市区町村名	N	12			○		転入前の都道府県名(漢字)を設定する。 転入している場合は必須とする。国外転入の場合は空白も可とする。	港区	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
36	転入前住所	N	100	○		○		転入前の住所(漢字)を設定する。 都道府県、市区町村名(政令指定都市の区名)を除いた住所を設定する。 転入している場合は必須とする。国外転入の場合は空白も可とする。	赤坂1-1-1	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
37	転入前郵便番号	X	7					転入前の郵便番号を設定する。	1070052	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
38	転出先都道府県コード	X	2			○		転出先の都道府県コードを設定する。 国外の場合は「99」、不明の場合は「00」を設定する。 転出している場合は必須とする。	13	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
39	転出先市区町村コード	X	3			○		転出先の市区町村コードを設定する。 国外の場合は「999」、不明の場合は「000」を設定する。 転出している場合は必須とする。	102	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
40	転出先都道府県名	N	4			○		転出先の都道府県名(漢字)を設定する。 転出している場合は必須とする。国外転出の場合は空白も可とする。	東京都	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
41	転出先市区町村名	N	12			○		転出先の市区町村名(漢字)を設定する。 転出している場合は必須とする。国外転出の場合は空白も可とする。	中央区	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
42	転出先住所	N	100	○		○		転出先の住所(漢字)を設定する。 都道府県、市区町村名(政令指定都市の区名)を除いた住所を設定する。 転出している場合は必須とする。国外転出の場合は空白も可とする。	明石町1-1-1	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
43	転出先郵便番号	X	7					転出先の郵便番号を設定する。	1040044	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
44	国籍コード	X	3		国籍コード	○		空白を設定する。 外国人住民は国籍コードを設定する。	001	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
45	在留資格コード	X	3		在留資格コード	○		空白を設定する。 外国人住民は在留資格コードを設定する。	001	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
46	在留期間	X	8					空白を設定する。		後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
47	在留終了年月日	X	8			○		空白を設定する。 外国人住民の中長期在留者(永住者除く)は在留終了年月日(西暦)を設定する。	20111031	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
48	市区町村作成年月日	X	8			○		市区町村側のデータ作成日を設定する。	20120101	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
49	市区町村作成時刻	X	6			○		市区町村側のデータ作成時刻を設定する。	120000	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
50	個人番号_未使用	X	12					空白を設定する。		
51	予備	X	86					空白を設定する。		後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用

データ項目一覧表	業務名					移行ファイル名	バージョン
	後期高齢者医療					被保険者情報ファイル	V2.7

No.	データ項目名称	データ型	桁数	外字 使用	コード	必須○ ／任意 [空白]	繰り返し [2桁以上の場 合のみ記載]	項目説明	サンプル値	備考
1	個人区分コード	X	1		個人区分コード	○		個人区分コードを設定する。	1	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
2	宛名番号	X	16			○		個人を特定する番号を左詰で設定する。	1234567890	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
3	被保険者番号	X	8			○		後期高齢者医療の被保険者番号を設定する。	23456789	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
4	被保険者資格取得事由コード	X	3		資格取得事由 コード	○		被保険者の資格取得事由コードを設定する。	001	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
5	被保険者資格取得年月日	X	8			○		資格取得年月日(西暦8桁)を設定する。	20110101	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
6	被保険者資格喪失事由コード	X	3		資格喪失事由 コード	○		被保険者の資格喪失事由コードを設定する。	202	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
7	被保険者資格喪失年月日	X	8			○		資格喪失年月日(西暦8桁)を設定する。	20120228	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
8	保険者番号適用開始年月日	X	8			○		適用開始年月日(西暦8桁)を設定する。	20110101	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
9	保険者番号適用終了年月日	X	8			○		適用終了年月日(西暦8桁)を設定する。	20120228	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
10	氏名カナ	N	40			○		氏名(カナ)を全角文字で設定する。	ニホン タロウ	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
11	生年月日	X	8			○		生年月日(西暦)を設定する。 生年月日は実在日を設定する。	19350101	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
12	性別コード	X	1		性別コード	○		性別コードを設定する。	1	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
13	現都道府県名	N	4			○		現住所の都道府県名(漢字)を設定する。	東京都	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
14	現市区町村名	N	12			○		現住所の市区町村(漢字)を設定する。	東西市	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
15	現住所	N	100	○		○		現住所の住所(漢字)を設定する。 都道府県、市区町村名(政令指定都市の区名)を除いた住所を設定する。	東町中央1-1-1	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
16	作成年月日	X	8			○		後期広域連合側の作成年月日(西暦8桁)を設定する。	20110201	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
17	作成時刻	X	6			○		後期広域連合側の作成時刻(時分秒)を設定する。	120000	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
18	予備	X	94					空白を設定する。		後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用

データ項目一覧表	業務名					移行ファイル名		バージョン
	後期高齢者医療					所得_課税情報ファイル		V2.7

No.	データ項目名称	データ型	桁数	外字使用	コード	必須 <sup>(○)</sup> /任意 [空白]	繰り返し (2桁以上の場合は 含めず)	項目説明	サンプル値	備考
1	個人区分コード	X	1		個人区分コード	○		個人区分コードを設定する。	1	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
2	宛名番号	X	16			○		個人を特定する番号を左詰で設定する。	1234567890	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
3	相当年度	X	4			○		収録対象となる所得情報の年度を設定する。	2011	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
4	異動区分コード	X	1		賦課用異動区分	○		賦課用異動区分コードを設定する。	1	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
5	更正年月日	X	8			○		賦課更正を行った年月日を設定する。	20110401	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
6	更正事由コード	X	1		住民税更正事由 コード	○		住民税更正事由コードを設定する。	1	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
7	課税非課税区分コード	X	1		住民税課税非課税 区分コード	○		課税か非課税かを区別するコードを設定する。 (負担区分の判定時に世帯構成員の課税非課税の判定に使用する。)	2	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
8	未申告区分	X	1		未申告区分コード	○		未申告区分コードを設定する。 (被保険者及び世帯主のいずれかの者が未申告の場合は、同一世帯に属する被保険者の保険料を軽減対象外とする。また、負担区分の判定時に世帯構成員における未申告者の有無の判定に使用する。)	0	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
9	経過措置フラグ	X	1		経過措置対象フラ グ	○		老年者非課税の経過措置対象者の判断を設定する。 (負担区分の判定時に税経過措置対象者が否かの判定に使用する。)	1	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
10	旧ただし書所得優先フラグ	X	1		旧ただし書所得 優先フラグ	○		旧ただし書所得優先フラグを設定する。	1	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
11	減額対象所得優先フラグ	X	1		減額対象所得 優先フラグ	○		減額対象所得優先フラグを設定する。	2	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
12	低I低II判定所得優先フラグ	X	1		低I低II判定所得 優先フラグ	○		低I低II判定所得優先フラグを設定する。	1	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
13	一部負担割合判定所得優先フラグ	X	1		一部負担割合判定 所得優先フラグ	○		一部負担割合判定所得優先フラグを設定する。	2	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
14	旧ただし書所得	S9	11			○		所得割算出に使用する額を設定する。マイナス不可	10000	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
15	減額対象所得	S9	11			○		減額判定に使用する額を設定する。マイナス不可	20000	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
16	低I低II判定所得	S9	11			○		低I低II判定に使用する額を設定する。マイナス不可 (負担区分の判定時に低所得Iとするか低所得IIとするかの判定に使用する。)	30000	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
17	一部負担割合判定所得	S9	11			○		一部負担割合判定に使用する額を設定する。マイナス不可	40000	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
18	市区町村住民税課税所得_地方税法上の各種控除後の所得	S9	11			○		1000円未満切捨後の金額を設定する。マイナス不可 (負担区分の判定時に課税所得額の判定に使用する。)	50000	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
19	営業所得額	S9	11			○		営業所得額を設定する。	60000	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
20	農業所得額	S9	11			○		肉用牛の売却による所得を設定する。(免税対象の所得を含む)	70000	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
21	不動産所得額	S9	11			○		不動産所得額を設定する。	80000	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
22	利子所得額	S9	11			○		利子所得額を設定する。マイナス不可	90000	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
23	配当所得額	S9	11			○		市配当控除が1.6%の配当所得を設定する。マイナス不可	1000	
24	配当証券投資所得額	S9	11			○		市配当控除が0.8%の配当所得を設定する。マイナス不可	2000	
25	外貨建配当所得額	S9	11			○		市配当控除が0.4%の配当所得を設定する。マイナス不可	3000	
26	配当_控除無所得額	S9	11			○		市配当控除が0%の配当所得を設定する。マイナス不可	4000	
27	給与所得額	S9	11			○		税法上の給与控除額を超える特定支出控除がある場合は、その控除後の額を設定する。マイナス不可	5000	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
28	その他雑所得額	S9	11			○		公的年金等以外の雑所得を設定する。	6000	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
29	雑所得合計額	S9	11			○		(公的年金等収入額-公的年金等控除額)+その他雑所得額を設定する。	7000	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
30	総合短期譲渡所得額	S9	11			○		特別控除後の金額を設定する。	8000	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
31	総合長期譲渡所得額	S9	11			○		特別控除後損益通算前1/2前の金額を設定する。	9000	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
32	一時所得額	S9	11			○		特別控除後損益通算前1/2前の金額を設定する。マイナス不可	10000	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
33	総合譲渡_時所得額	S9	11			○		総合譲渡-時所得額を設定する。	20000	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用

データ項目一覧表	業務名					移行ファイル名		バージョン
	後期高齢者医療					所得_課税情報ファイル		V2.7

No.	データ項目名称	データ型	桁数	外字 使用	コード	必須○ ／任意 [空白]	繰り返し [2桁以上の埋 入のみ記載]	項目説明	サンプル値	備考
34	給与収入額	S9	11			○		給与収入額を設定する。マイナス不可	30000	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
35	給与専従者収入額	S9	11			○		専従者本人が給与として得た金額のうち事業専従者控除として認められた金額を設定する。(専従者本人の情報に設定) 給与収入額の内数、マイナス不可	40000	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
36	専従者給与_控除額	S9	11			○		納税義務者が必要経費として認められた事業専従者控除額を設定する。(事業主の情報に設定) マイナス不可。	50000	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
37	公的年金収入額	S9	11			○		国民年金・厚生年金・共済年金などの収入額を設定する。(公的年金等控除前)	60000	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
38	分離短期譲渡一般所得額	S9	11			○		特別控除前の金額一般の短期譲渡所得を設定する。	70000	
39	分離短期譲渡軽減所得額	S9	11			○		特別控除前の金額。国または地方公共団体に対する土地等の譲渡に係る所得を設定する。	80000	
40	分離長期譲渡一般所得額	S9	11			○		特別控除前の金額。一般の短期譲渡所得を設定する。	90000	
41	分離長期譲渡特定所得額	S9	11			○		特別控除前の金額。優良住宅地等に係る長期譲渡所得を設定する。	1000	
42	分離長期譲渡軽減所得額	S9	11			○		特別控除前の金額。居住用財産の長期譲渡所得を設定する。	2000	
43	山林所得額	S9	11			○		特別控除後の金額を設定する。	3000	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
44	先物取引所得額	S9	11			○		先物取引所得額を設定する。	4000	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
45	未公開株式譲渡所得額	S9	11			○		平成20年12月31日以前の所得であり、詳細の内訳で管理していない場合、株式譲渡所得の合計額としてどちらかの欄に設定することは可能。その場合は合計額を設定しなかった項目はゼロとする。 平成21年1月1日以後、平成27年12月31日以前の所得の場合は、未公開株式譲渡所得額がマイナス所得で、分離課税分の配当所得がある場合、未公開株式譲渡所得の損失は申告分離課税の配当所得と損益通算できないため、「未公開株式譲渡所得額」には上場株式譲渡所得と損益通算した結果の未公開株式譲渡所得を設定し、マイナスの場合はゼロを設定する。 平成28年1月1日以後の所得の場合、未公開株式譲渡所得額と一般公社債等に係る譲渡所得等を通算した金額を設定する。	5000	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
46	上場株式譲渡所得額	S9	11			○		平成20年12月31日以前の所得であり、詳細の内訳で管理していない場合、株式譲渡所得の合計額としてどちらかの欄に設定することは可能。その場合は合計額を設定しなかった項目はゼロとする。 平成21年1月1日以後、平成27年12月31日以前の所得の場合は、未公開株式譲渡所得額がマイナス所得で、分離課税分の配当所得がある場合、未公開株式譲渡所得の損失は申告分離課税の配当所得と損益通算できないため、「上場株式譲渡所得額」には未公開株式譲渡所得と損益通算した結果の上場株式譲渡所得に申告分離課税の上場株式配当所得の合算した金額を設定する。 平成28年1月1日以後の所得の場合、上場株式譲渡所得と特定公社債等に係る譲渡所得等を通算した金額を設定する。	6000	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
47	分離短期一般特別控除額	S9	11			○		「分離短期一般譲渡所得額」から控除される特別控除額を設定する。	7000	
48	分離短期軽減特別控除額	S9	11			○		「分離短期軽減譲渡所得額」から控除される特別控除額を設定する。	8000	
49	分離長期一般特別控除額	S9	11			○		「分離長期一般譲渡所得額」から控除される特別控除額を設定する。	9000	
50	分離長期特定特別控除額	S9	11			○		「分離長期特定譲渡所得額」から控除される特別控除額を設定する。	10000	
51	分離長期軽減特別控除額	S9	11			○		「分離長期軽減譲渡所得額」から控除される特別控除額を設定する。	11000	
52	繰越純損失額	S9	11			○		繰越純損失額を設定する。マイナス不可	12000	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
53	繰越雑損失額	S9	11			○		繰越雑損失額を設定する。マイナス不可	13000	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用



データ項目一覧表	業務名					移行ファイル名		バージョン
	後期高齢者医療					所得_課税情報ファイル		V2.7

No.	データ項目名称	データ型	桁数	外字 使用	コード	必須○ ／任意 [空白]	繰り返し [2桁以上の埋 入のみ記載]	項目説明	サンプル値	備考
54	繰越株式損失額	S9	11			○		(相当年度「2009」以前)株式譲渡所得から控除する繰越損失を設定する。 (相当年度「2010」以後、「2016」以前)分離配当所得から控除する繰越損失と 株式譲渡所得から控除する繰越損失を合算した額を設定する。 (相当年度「2017」以後) 上場株式等に係る配当所得等の金額と上場株式等に係る譲渡所得等の金額 から控除する繰越損失を設定する。 マイナス不可	14000	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書シ ステム仕様書のデータ項目を引用 ※住民税システム側において確定申告書付表の情 報を入手できない等のやむを得ない都合がある場 合、標準システムヘルプデスクセルフサポートサイ (WEBサイト)「(更新2)一部負担金割合に係る所得 の額の算定基準等の見直しについて」(2017. 3. 17 掲載)の「4. その他」-(5)に記載されている通り、設 定することを可能とする。
55	繰越先物損失額	S9	11			○		繰越先物損失額を設定する。マイナス不可	15000	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書シ ステム仕様書のデータ項目を引用
56	繰越居住用損失額	S9	11			○		繰越居住用損失額を設定する。マイナス不可	16000	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書シ ステム仕様書のデータ項目を引用
57	居住用損失額	S9	11			○		現年分の長期譲渡所得の内、総合分と損益通算可能な金額を設定する。 マイナス不可	17000	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書シ ステム仕様書のデータ項目を引用
58	条約適用利子等所得額	S9	11			○		条約適用利子等所得額を設定する。マイナス不可	18000	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書シ ステム仕様書のデータ項目を引用
59	条約適用配当等所得額	S9	11			○		条約適用配当等所得額を設定する。マイナス不可	19000	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書シ ステム仕様書のデータ項目を引用
60	上場株式配当所得額	S9	11			○		(相当年度「2016」以前)ゼロを設定する。 (相当年度「2017」以後)上場株式等に係る配当所得と特定公社債等に係る利 子所得を通算した金額を設定する。 マイナス不可	20000	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書シ ステム仕様書のデータ項目を引用
61	繰越特定中小会社株式損失額	S9	11			○		(相当年度「2016」以前)ゼロを設定する。 (相当年度「2017」以後)特定中小会社が発行した株式に係る譲渡損失の繰越 控除等の金額を設定する。 マイナス不可	21000	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書シ ステム仕様書のデータ項目を引用 ※住民税システム側において確定申告書付表の情 報を入手できない等のやむを得ない都合がある場 合、標準システムヘルプデスクセルフサポートサイ (WEBサイト)「(更新2)一部負担金割合に係る所得 の額の算定基準等の見直しについて」(2017. 3. 17 掲載)の「4. その他」-(5)に記載されている通り、設 定することを可能とする。
62	特例適用利子等所得額	S9	11			○		(相当年度「2017」以前)ゼロを設定する。 (相当年度「2018」以後)特例適用利子等の額を設定する。 マイナス不可	22000	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書シ ステム仕様書のデータ項目を引用
63	特例適用配当等所得額	S9	11			○		(相当年度「2017」以前)ゼロを設定する。 (相当年度「2018」以後)特例適用配当等の額を設定する。 マイナス不可	23000	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書シ ステム仕様書のデータ項目を引用
64	予備	X	4					空白を設定する。		後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書シ ステム仕様書のデータ項目を引用

データ項目一覧表	業務名				移行ファイル名		バージョン
	後期高齢者医療				送達物管理ファイル		V2.7

No.	データ項目名称	データ型	桁数	外字 使用	コード	必須[○] /任意 [空白]	繰り返し [2回以上の場 合のみ記載]	項目説明	サンプル値	備考
1	被保険者番号	X	8			○		被保険者番号を設定する。	12345678	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書シス テム仕様編のデータ項目を引用
2	送達物名称	N	20			○		送達物の名称を設定する。	納付書	
3	送達年月日	X	8			○		送達物を発送した年月日を西暦で設定する。	20120228	
4	返戻年月日	X	8			○		送達物が返戻された場合、年月日を西暦で設定する。	20120307	
5	公示年月日	X	8			○		送達物を公示した場合、年月日を西暦で設定する。	20120315	
6	送達物送付先郵便番号	X	10					送達物を送付した住所の郵便番号を設定する。	1234567	
7	送達物送付先住所	N	100	○				送達物を送付した住所を設定する。	東京都千代田区丸の内1-1-1	
8	送達物送付先名称	N	100	○				送達物を送付した宛先を設定する。	日本 次郎	
9	備考	N	100					送達物に関する備考情報を設定する。	転送先不明。	

データ項目一覧表	業務名				移行ファイル名		バージョン
	後期高齢者医療				送付先情報ファイル		V2.7

No.	データ項目名称	データ型	桁数	外字 使用	コード	必須○ /任意 [空白]	繰り返し [2桁以上の場 合のみ記載]	項目説明	サンプル値	備考
1	個人区分コード	X	1		個人区分コード	○		個人区分コードを設定する。	1	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
2	宛名番号	X	16			○		個人を特定する番号を左詰で設定する。	1234567890	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
3	送付先氏名	N	100	○		○		送付先氏名(漢字)を設定する。	日本 太郎	
4	送付先住所コード	X	30		住所コード	○		送付先の住所をコードを設定する。 ※全国地方公共団体コード等を想定しているが、自治体ごとにコード化の範囲も含め個別に設定する。	139999	
5	送付先住所	N	100	○		○		送付先住所(漢字)を設定する。	東京都千代田区丸の内○番地×号	
6	送付先郵便番号	X	10			○		送付先住所の郵便番号を設定する。	1234567	
7	送付先利用開始年月日	X	8					送付先の利用開始年月日を西暦で設定する。	20101001	
8	送付先利用終了年月日	X	8					送付先を解除する(している)場合のみ、終了年月日を西暦で設定する。 それ以外の場合、初期値(半角空白)を設定する。	20120228	
9	送付先利用区分	X	1		送付先利用区分			どの業務で使用している送付先情報か判別する為の区分を設定する。	1	

データ項目一覧表	業務名				移行ファイル名		バージョン
	後期高齢者医療				連絡先情報ファイル		V2.7

No.	データ項目名称	データ型	桁数	外字 使用	コード	必須○ /任意 [空白]	繰り返し [2回以上の場 合のみ記載]	項目説明	サンプル値	備考
1	個人区分コード	X	1		個人区分コード	○		個人区分コードを設定する。	1	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
2	宛番号	X	16			○		個人を特定する番号を左詰で設定する。	1234567890	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
3	連絡先名称1	N	50	○		○		連絡先の名称を設定する。	自宅電話番号	
4	連絡先電話番号1	X	20			○		連絡先名称1の電話番号を左詰めで設定する。	012-345-6781	
5	連絡先名称2	N	50	○				連絡先名称1と異なる連絡先を管理する場合、連絡先の名称を設定する。	家族連絡先	
6	連絡先電話番号2	X	20					連絡先名称2の電話番号を左詰めで設定する。	012-345-6782	
7	連絡先名称3	N	50	○				連絡先名称1、連絡先名称2と異なる連絡先を管理する場合、連絡先の名称を設定する。	緊急連絡先	
8	連絡先電話番号3	X	20					連絡先名称3の電話番号を左詰めで設定する。	012-345-6783	

データ項目一覧表	業務名					移行ファイル名	バージョン
	後期高齢者医療					口座情報ファイル	V2.7

No.	データ項目名称	データ型	桁数	外字 使用	コード	必須○ /任意 [空白]	繰り返し 回数以上の理 由のみ記載	項目説明	サンプル値	備考
1	個人区分コード	X	1		個人区分コード	○		個人区分コードを設定する。	1	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書シス テム仕様書のデータ項目を引用
2	宛番号	X	16			○		個人を特定する番号を左詰で設定する。	1234567890	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書シス テム仕様書のデータ項目を引用
3	金融機関コード	X	4		金融機関	○		(全銀協)統一金融機関コード	1234	APPLIC標準仕様 項目セット辞書 金融機関コード 引用
4	支店コード	X	3		支店	○		(全銀協)統一店番号	123	APPLIC標準仕様 項目セット辞書 支店コード 引用
5	口座種別	X	1		口座種別	○		(全銀協)預金種目	1	APPLIC標準仕様 項目セット辞書 口座種別 引用
6	口座番号	X	8			○		口座の番号を先頭ゼロ詰で設定する。	12345678	APPLIC標準仕様 項目セット辞書 口座番号 引用
7	口座名義人カナ	N	40			○		口座名義人カナを設定する。	ニホン タロウ	APPLIC標準仕様 項目セット辞書 口座名義人カナ 引用
8	口座名義人名	N	40	○				口座名義人漢字を設定する。	日本 太郎	APPLIC標準仕様 項目セット辞書 口座名義人名 引用
9	口座利用開始年月日	X	8					口座の利用開始年月日を西暦で設定する。	20101101	
10	口座利用終了年月日	X	8					口座を解除した場合のみ、終了年月日を西暦で設定する。 それ以外の場合、初期値(半角空白)を設定する。	20121131	
11	口座利用区分	X	1		口座利用区分			どの業務で使用している口座情報が判別する口座利用区分を設定する。	1	

データ項目一覧表	業務名	移行ファイル名	バージョン
	後期高齢者医療	特記情報ファイル	V2.7

No.	データ項目名称	データ型	桁数	外字 使用	コード	必須[○] /任意 [空白]	繰り返し [2回以上の場 合のみ記載]	項目説明	サンプル値	備考
1	個人区分コード	X	1		個人区分コード	○		個人区分コードを設定する。	1	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
2	宛番号	X	16			○		個人を特定する番号を左詰で設定する。	1234567890	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
3	被保険者番号	X	8					後期広域連合側で付番された番号を設定する。	12345678	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
4	特記内容	N	1000	○		○		個人に関する特記内容を設定する。	昼間は不在です。	
5	入力年月日	X	8					特記内容の入力年月日を西暦で設定する。	20120228	

データ項目一覧表		業務名					移行ファイル名		バージョン	
		後期高齢者医療					保険料情報ファイル		V2.7	

No.	データ項目名称	データ型	桁数	外字 使用	コード	必須○ ／任意 [空白]	繰り返し [2桁以上の種 含のみ記載]	項目説明	サンプル値	備考
1	相当年度	X	4			○		保険料賦課の対象となる年度(西暦4桁)を設定する。	2011	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
2	被保険者番号	X	8			○		後期高齢者医療の被保険者番号を設定する。	23456789	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
3	賦課管理番号	X	2			○		広域側で付番された賦課の管理番号を設定する。	01	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
4	市区町村別保険料	9	7			○		市区町村が徴収する保険料を設定する。 ・確定賦課/異動賦課の場合広域内転居をしている被保険者の場合、市区町村別加入月数で月割後の額 ・暫定賦課の場合暫定徴収額で徴収する額	10000	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
5	不均一賦課地区コード	X	10			○		後期広域連合の定めた無医地区を特定するためのコードを設定する。	8888888888	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
6	暫定確定賦課フラグ	X	1		暫定賦課フラグ	○		暫定賦課フラグを設定する。	2	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
7	申告区分	X	1		申告種類コード	○		申告種類コードを設定する。 賦課期日時点の被保険者および世帯主について、全員申告有ならば「申告有(1~3)」を設定する。一人でも申告無ならば「未申告(4)」を設定する。	1	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
8	通知書発送要否フラグ	X	1		通知書発送 要否フラグ	○		通知書の発送要否を設定する。	1	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
9	資格取得年月日	X	8			○		資格取得年月日(西暦8桁)を設定する。	20110101	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
10	資格喪失年月日	X	8			○		資格喪失年月日(西暦8桁)を設定する。	20111231	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
11	広域内転居取得年月日	X	8			○		広域内転居取得日(西暦8桁)を設定する。	20110101	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
12	広域内転居喪失年月日	X	8			○		広域内転居喪失日(西暦8桁)を設定する。	20111231	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
13	賦課事由コード	X	2		更正事由コード	○		更正事由コードを設定する。	00	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
14	賦課事由	N	100			○		賦課事由を漢字で設定する。	決定	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
15	賦課決定年月日	X	8			○		賦課を決定した年月日(西暦8桁)を設定する。	20110101	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
16	所得割率	X	4			○		所得割率を設定する。	0840	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
17	賦課のもととなる所得金額	9	11			○		所得割課税標準額を設定する。	10000	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
18	所得割額	9	11			○		所得割額を設定する。	1000	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
19	均等割額	9	7			○		均等割額を設定する。	2000	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
20	算出額	9	11			○		所得割額+均等割額を設定する。	3000	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
21	賦課期日	X	8			○		賦課開始年月日(西暦8桁)を賦課計算の元となる情報毎に設定する。	20110401	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
22	減額区分	X	1		減額区分コード	○		減額区分コードを設定する。	1	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
23	均等割軽減額	9	7			○		減額した額を設定する。	100	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
24	限度超過額	9	11			○		限度超過した額を設定する。	200	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
25	年保険料額	9	7			○		月割前の保険料を設定する。	300	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
26	月数	X	2			○		月数を設定する。	12	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
27	月割減額	9	7			○		年保険料額から月割後、減となる額を設定する。	3000	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
28	特別軽減区分	X	1		特別軽減区分 コード	○		被用者保険の被扶養者であった被保険者に係る軽減の区分である特別軽減区分コードを設定する。	1	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
29	月別資格情報	X	12			○		資格有を1、資格無を0として1/1日目を4月、4~3月までの月別情報を設定する。	1111111111	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
30	賦課期日2	X	8			○		賦課期日と同一の日付を設定する。	20110401	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
31	減額区分2	X	1		減額区分コード	○		減額区分を設定する。	1	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
32	均等割軽減額2	9	7			○		減額した額を設定する。	100	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
33	限度超過額2	9	11			○		ゼロを設定する。	0	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用

データ項目一覧表		業務名					移行ファイル名		バージョン	
		後期高齢者医療					保険料情報ファイル		V2.7	

No.	データ項目名称	データ型	桁数	外字使用	コード	必須○ ／任意 [空白]	繰り返し [2桁以上の場 合のみ記載]	項目説明	サンプル値	備考
34	年保険料額2	9	7			○		月割前の保険料を設定する。	1000	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
35	月数2	X	2			○		月数を設定する。	05	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
36	月割減額2	9	7			○		年保険料額2から月割後、減となる額を設定する。	300	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
37	特別軽減区分2	X	1		特別軽減区分 コード	○		被用者保険の被扶養者であった被保険者に係る軽減の区分を設定する。	1	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
38	月別資格情報2	X	12			○		資格有を1、資格無を0として1バイト目を4月、4～3月までの月別情報を設定する。	2222222222	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
39	減免額	9	7			○		減免額を設定する。	400	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
40	後期高齢者医療保険料	9	7			○		確定賦課の場合、年間保険料額を設定する。暫定賦課の場合、前年度年間保険料を設定する。	5000	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
41	賦課のもととなる所得金額_変更前	9	11			○		「賦課のもととなる所得金額」の変更前の金額を設定する。	60000	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
42	所得割額_変更前	9	11			○		「所得割額」の変更前の金額を設定する。	400	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
43	均等割額_変更前	9	7			○		「均等割額」の変更前の金額を設定する。	500	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
44	算出額_変更前	9	11			○		「算出額」の変更前の金額を設定する。	600	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
45	賦課期日_変更前	X	8			○		「賦課期日」の変更前の賦課期日を設定する。	70000	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
46	減額区分_変更前	X	1		減額区分コード	○		「減額区分」の変更前の区分を設定する。	1	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
47	均等割軽減額_変更前	9	7			○		「均等割軽減額」の変更前の金額を設定する。	800	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
48	限度超過額_変更前	9	11			○		「限度超過額」の変更前の金額を設定する。	900	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
49	年保険料額_変更前	9	7			○		「年保険料額」の変更前の金額を設定する。	1000	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
50	月数_変更前	X	2			○		「月数」の変更前の月数を設定する。	03	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
51	月割減額_変更前	9	7			○		「月割減額」の変更前の金額を設定する。	2000	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
52	特別軽減区分_変更前	X	1		特別軽減区分 コード	○		「特別軽減区分」の変更前の区分を設定する。	1	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
53	月別資格情報_変更前	X	12			○		「月別資格情報」の変更前の月別資格情報を設定する。	3333333333	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
54	賦課期日2_変更前	X	8			○		「賦課期日2」の変更前の期日を設定する。	20110501	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
55	減額区分2_変更前	X	1		減額区分コード	○		「減額区分2」の変更前の区分を設定する。	1	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
56	均等割軽減額2_変更前	9	7			○		「均等割軽減額2」の変更前の金額を設定する。	3000	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
57	限度超過額2_変更前	9	11			○		「限度超過額2」の変更前の金額を設定する。	4000	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
58	年保険料額2_変更前	9	7			○		「年保険料額2」の変更前の金額を設定する。	5000	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
59	月数2_変更前	X	2			○		「月数2」の変更前の月数を設定する。	04	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
60	月割減額2_変更前	9	7			○		「月割減額2」の変更前の金額を設定する。	6000	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
61	特別軽減区分2_変更前	X	1		特別軽減区分 コード	○		「特別軽減区分2」の変更前の区分を設定する。	1	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
62	月別資格情報2_変更前	X	12			○		「月別資格情報2」の変更前の月別資格情報を設定する。	4444444444	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
63	減免額_変更前	9	7			○		「減免額」の変更前の金額を設定する。	7000	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
64	後期高齢者医療保険料_変更前	9	7			○		「後期高齢者医療保険料」の変更前の金額を設定する。	8000	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
65	所得割軽減額	9	7			○		所得割の減額した額を設定する。	9000	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
66	所得割減額区分	X	1		所得割減額区分 コード	○		所得割減額区分を設定する。	1	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
67	所得割軽減額_変更前	9	7			○		「所得割軽減額」の変更前の金額を設定する。	10000	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用
68	所得割減額区分_変更前	X	1		所得割減額区分 コード	○		「所得割減額区分」の変更前の区分を設定する。	1	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書のデータ項目を引用



データ項目一覧表	業務名				移行ファイル名		バージョン
	後期高齢者医療				保険料情報ファイル		V2.7

No.	データ項目名称	データ型	桁数	外字 使用	コード	必須(O) /任意 [空白]	繰り返し [2桁以上の場 合のみ記載]	項目説明	サンプル値	備考
69	予備	X	64					空白を設定する。		

データ項目一覧表	業務名				移行ファイル名		バージョン
	後期高齢者医療				普徴申請者情報ファイル		V2.7

No.	データ項目名称	データ型	桁数	外字 使用	コード	必須[○] /任意 [空白]	繰り返し [2回以上の場 合のみ記載]	項目説明	サンプル値	備考
1	被保険者番号	X	8			○		被保険者番号を設定する。	12345678	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
2	申請年月日	X	8			○		申請のあった年月日を西暦で設定する。	20120228	
3	受付年月日	X	8			○		申請の受付を行った年月日を西暦で設定する。	20120228	
4	申請者氏名	N	100			○		申請者の氏名を設定する。	佐藤 太郎	
5	申請者郵便番号	X	10					申請者の郵便番号を設定する。	1234567	
6	申請者住所	N	100			○		申請者の住所を設定する。	東京都東西市南町中央1-1-1	
7	申請者電話番号	X	20					申請者の電話番号を設定する。	03-1234-5678	
8	申請者続柄	X	2		続柄コード	○		申請者の続柄コードを設定する。	02	

データ項目一覧表	業務名					移行ファイル名	バージョン
	後期高齢者医療					期割情報ファイル	V2.7

No.	データ項目名称	データ型	桁数	外字 使用	コード	必須(O) /任意 [空白]	繰り返し (2回以上の理 念のみ記載)	項目説明	サンプル値	備考
1	被保険者番号	X	8			O		後期高齢者医療の被保険者番号を設定する。	23456789	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
2	賦課年度	X	4			O		当該期別の保険料の賦課決定をした年度(西暦4桁)を設定する。	2011	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
3	相当年度	X	4			O		保険料賦課の対象となる年度(西暦4桁)を設定する。	2011	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
4	賦課管理番号	X	2			O		広域側で付番された賦課の管理番号を設定する。	01	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
5	徴収方法区分コード	X	1		徴収方法区分 コード	O		徴収方法区分コードを設定する。	1	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
6	期別番号	X	2			O		保険料を徴収する期を設定する。期別番号の値の範囲は以下の通りである。 ・特徴:01~06 ・普徴(定期):01~12 ・普徴(随時期):13~99	01	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
7	期割情報種別	X	1		期割情報種別 コード	O		期割情報種別コードを設定する。	1	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
8	納期限年月日	X	8			O		納期限年月日(西暦8桁)を設定する。 特別徴収の場合、空白。普通徴収の場合、必須項目。	20110801	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
9	保険料期割額	9	7			O		期割を行った保険料額を設定する。	1000	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
10	異動区分	X	1		賦課用異動区分	O		賦課用異動区分を設定する。	1	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用
11	予備	X	54					空白を設定する。		後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様書のデータ項目を引用

データ項目一覧表	業務名					移行ファイル名	バージョン
	後期高齢者医療					収納履歴情報ファイル	V2.7

No.	データ項目名称	データ型	桁数	外字使用	コード	必須○ /任意 [空白]	繰り返し [2桁以上の場 合のみ記載]	項目説明	サンプル値	備考
1	被保険者番号	X	8			○		被保険者番号を設定する。	12345678	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
2	賦課年度	X	4			○		当該期別の保険料の賦課決定をした年度(西暦4桁)を設定する。	2012	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
3	相当年度	X	4			○		保険料賦課の対象となる年度(西暦4桁)を設定する。	2012	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
4	賦課管理番号	X	2			○		後期広域連合側で付番された賦課管理番号を設定する。 同一年度、同一被保険者の賦課算定根拠毎に付加する番号を設定。	01	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
5	徴収方法区分コード	X	1		徴収方法区分コード	○		徴収方法区分コードを設定する。 保険料を徴収する期を設定する。	1	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
6	期別番号	X	2			○		※期別番号の値の範囲は以下の通りである。 ・特徴(01~06) ・普徴(定期):01~12 ・普徴(随時期):13~99	01	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
7	集計年度	X	4			○		集計に挙げる年度を設定する。	2012	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
8	収納区分	X	2		収納区分	○		消込データの収納区分を設定する。	01	
9	保険料収納金額	S9	7			○		徴収した保険料額を設定する。 ※「収納区分」が「02」(還付)、「03」(充当元)、「10」(返納)のいずれかの場合、ZEROまたはマイナスで設定する。保険料額の収納または、保険料額の還付(充当)がある場合、設定。それ以外の場合、初期値を設定する。	10000	
10	延滞金額	S9	7			○		徴収した延滞金額を設定する。 ※「収納区分」が「02」(還付)、「03」(充当元)、「10」(返納)のいずれかの場合、ZEROまたはマイナスで設定する。延滞金の収納または、延滞金の還付(充当)がある場合、設定。それ以外の場合、初期値を設定する。	1000	
11	督促手数料額	S9	7			○		徴収した督促手数料額を設定する。 ※「収納区分」が「02」(還付)、「03」(充当元)、「10」(返納)のいずれかの場合、ZEROまたはマイナスで設定する。督促手数料額の収納または、督促手数料額の還付(充当)がある場合、設定。それ以外の場合、初期値を設定する。	100	
12	領収年月日	X	8			○		被保険者が保険料を支払った年月日を設定する。 ※収納区分が還付、充当元、充当先、返納の場合、還付決議日(充当決議日)を設定する。	20120228	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
13	収納年月日	X	8			○		市町村に保険料が収められた年月日を設定する。 自治体において公金日となる年月日を設定する。 ※収納区分が還付、充当元、充当先、返納の場合、還付決議日(充当決議日)を設定する。	20120228	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
14	納付区分	X	2		納付区分	○		納付区分を設定する。 収納区分が「02」(還付)、「04」(充当先)の場合、納付区分には「09」(その他)を設定する。	01	

データ項目一覧表	業務名					移行ファイル名	バージョン
	後期高齢者医療					過誤納情報ファイル	V2.7

No.	データ項目名称	データ型	桁数	外字 使用	コード	必須○ /任意 [空白]	繰り返し [2桁以上の理 含のみ記載]	項目説明	サンプル値	備考
1	被保険者番号	X	8			○		被保険者番号を設定する。	12345678	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
2	相当年度	X	4			○		保険料賦課の対象となる年度(西暦4桁)を設定する。	2012	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
3	賦課年度	X	4			○		当該期別の保険料の賦課決定をした年度(西暦4桁)を設定する。	2012	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
4	徴収方法区分コード	X	1		徴収方法区分コード	○		過誤納の発生期別の徴収方法区分コードを設定する。 保険料を徴収する期を設定する。	1	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
5	期別番号	X	2			○		※期別番号の値の範囲は以下の通りである。 ・特徴(定期):01~06 ・普徴(定期):01~12 ・普徴(随時期):13~99	01	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
6	過誤納発生年月日	X	8			○		過誤納が発生した年月日(保険料納付の場合、消込年月日)を西暦で設定する。	20120228	
7	過誤納発生事由	N	100			○		過誤納が発生した事由(賦課更正/保険料納付等)を設定する。	保険料の二重納付による。	
8	過誤納金額	9	10			○		発生した過誤納の合計金額を設定する。 保険料収納金額より過誤納が発生している場合、設定する。 それ以外の場合、初期値を設定する。	1200	
9	賦課管理番号	X	2			○		後期広域連合側で付番された賦課管理番号を設定する。	01	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用

データ項目一覧表	業務名					移行ファイル名	バージョン
	後期高齢者医療					還付充当情報ファイル	V2.7

No.	データ項目名称	データ型	桁数	外字 使用	コード	必須○ ／任意 [空白]	繰り返し [2桁以上の場 合のみ記載]	項目説明	サンプル値	備考
1	被保険者番号	X	8			○		被保険者番号を設定する。	12345678	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
2	相当年度	X	4			○		保険料賦課の対象となる年度(西暦4桁)を設定する。	2012	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
3	賦課年度	X	4			○		当該期別の保険料の賦課決定をした年度(西暦4桁)を設定する。	2012	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
4	徴収方法区分コード	X	1		徴収方法区分 コード	○		徴収方法区分コードを設定する。 保険料を徴収する期を設定する。	2	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
5	期別番号	X	2			○		※期別番号の値の範囲は以下の通りである。 ・特徴:01～06 ・普徴(定期):01～12 ・普徴(随時期):13～99	02	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
6	過誤納状態区分	X	1		過誤納状態区分	○		過誤納状態区分を設定する。	2	
7	還付充当金額	9	7			○		過誤納情報ファイルの過誤納金額から還付(返納)、または充当した場合、金額を設定する。それ以外の場合、初期値を設定する。	1000	
8	充当先_被保険者番号	X	8			○		『過誤納状態区分』が“2”(充当の場合、充当先の被保険者番号を設定する。それ以外の場合、初期値を設定する。	12345678	
9	充当先_賦課年度	X	4			○		『過誤納状態区分』が“2”(充当の場合、充当先の賦課年度を設定する。それ以外の場合、初期値を設定する。	2011	
10	充当先_相当年度	X	4			○		『過誤納状態区分』が“2”(充当の場合、充当先の相当年度を設定する。それ以外の場合、初期値を設定する。	2011	
11	充当先_徴収方法区分	X	1		徴収方法区分 コード	○		充当先の徴収方法区分を設定する。 『過誤納状態区分』が“2”(充当の場合、充当先の徴収方法区分を設定する。それ以外の場合、初期値を設定する。	2	
12	充当先_期別番号	X	2			○		『過誤納状態区分』が“2”(充当の場合、充当先の期別番号を設定する。それ以外の場合、初期値を設定する。	3	
13	充当先_充当金額	9	7			○		『過誤納状態区分』が“2”(充当の場合、充当先の期別保険料額に充当した金額を設定する。それ以外の場合、初期値を設定する。	1000	
14	充当先_延滞金額	9	7			○		『過誤納状態区分』が“2”(充当の場合、充当先の延滞金額に充当した金額を設定する。それ以外の場合、初期値を設定する。	0	
15	充当先_督促手数料額	9	7			○		『過誤納状態区分』が“2”(充当の場合、充当先の督促手数料額に充当した金額を設定する。それ以外の場合、初期値を設定する。	0	
16	充当決議年月日	X	8			○		『過誤納状態区分』が“2”(充当の場合、充当決議年月日を西暦で設定する。それ以外の場合、初期値を設定する。	20120217	
17	還付決議年月日	X	8			○		『過誤納状態区分』が“1”(還付)または“3”(雑収入)または“4”(返納)の場合、還付決議年月日または、返納決議年月日を西暦で設定する。それ以外の場合、初期値を設定する。	20120217	
18	還付支払年月日	X	8			○		『過誤納状態区分』が“1”(還付)の場合、還付支払年月日を設定する。それ以外の場合、初期値を設定する。	20120217	
19	還付口座振込依頼年月日	X	8			○		還付口座振込み依頼を行った年月日を西暦で設定とする。それ以外の場合、初期値を設定する。	20120217	
20	還付請求書発行年月日	X	8			○		還付請求書を発行した年月日を西暦で設定する。それ以外の場合、初期値を設定する。	20120217	
21	還付支払方法区分	X	1		還付支払方法区分	○		還付額の支払方法結果である還付支払方法区分を設定する。 ※窓口で還付を行った場合は「還付請求書」を設定する。口座振込、還付請求書以外で還付を行った場合(システム外で還付した場合は「窓口」を設定する。 『過誤納状態区分』が“1”(還付) or “3”(雑収入)の場合、必須設定とする。それ以外の場合、初期値を設定する。	1	
22	雑収入繰入年月日	X	8			○		『過誤納状態区分』が“3”(雑収入)の場合、雑収入として繰り入れた年月日を設定する。それ以外の場合、初期値を設定する。	20120217	
23	賦課管理番号	X	2			○		後期広域連合側で付番された賦課管理番号を設定する。	01	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用

データ項目一覧表	業務名					移行ファイル名	バージョン
	後期高齢者医療					滞納者情報ファイル	V2.7

No.	データ項目名称	データ型	桁数	外字 使用	コード	必須○ ／任意 [空白]	繰り返し [2桁以上の埋 入のみ記載]	項目説明	サンプル値	備考
1	被保険者番号	X	8			○		後期高齢者医療の被保険者番号を設定する。	12345678	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
2	賦課年度	X	4			○		当該期別の保険料の賦課決定をした年度(西暦4桁)を設定する。	2011	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
3	相当年度	X	4			○		保険料賦課の対象となる年度(西暦4桁)を設定する。	2011	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
4	賦課管理番号	X	2			○		広域側で付番された賦課の管理番号を設定する。	01	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
5	徴収方法区分コード	X	1		徴収方法区分 コード	○		徴収方法区分コードを設定する。	2	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
6	期別番号	X	2			○		保険料を徴収する期を設定する。期別番号の値の範囲は以下の通りである。 ・普徴(定期):01～12 ・普徴(随時期):13～99	01	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
7	滞納状態コード	X	1		滞納状態コード	○		滞納状態コードを設定する。 滞納中であり、かつ居所不明である場合に、「居所不明」を設定する。 (収納率の算出の際に使用するため、居所不明の滞納者に対しては、 年度集計資料出力までに「居所不明」の状態としなければならない) なお、当該居所不明者に対し不納欠損とした場合は、「居所不明」ではなく 「不納欠損」を設定する。	1	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
8	督促状発行年月日	X	8			○		督促を行った場合、督促状発行年月日を設定する。	20110401	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
9	催告書発行年月日	X	8			○		催告を行った場合、催告書発行年月日に値を設定する。	20110501	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
10	不納欠損年月日	X	8			○		不納欠損を行った日(西暦8桁)を設定する。	20110601	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
11	不納欠損事由コード	X	2		不納欠損事由 コード	○		不納欠損事由コードを設定する。	11	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
12	不納欠損額	9	7			○		不納欠損を行った額を設定する。	1000	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
13	督促催告納期限	X	8			○		督促状に出力した納期限(西暦8桁)を設定する。 督促状を発行した場合、設定。	20110430	
14	予備	X	79					空白を設定する。		

データ項目一覧表	業務名					移行ファイル名		バージョン
	後期高齢者医療					処分管理情報ファイル		V2.7

No.	データ項目名称	データ型	桁数	外字 使用	コード	必須○ /任意 [空白]	繰り返し [2桁以上の理 念のみ記載]	項目説明	サンプル値	備考
1	被保険者番号	X	8			○		被保険者番号を設定する。	12345678	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
2	相当年度	X	4			○		保険料賦課の対象となる年度(西暦4桁)を設定する。	2012	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
3	賦課年度	X	4			○		当該期別の保険料の賦課決定をした年度(西暦4桁)を設定する。	2012	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
4	期別番号	X	2					保険料を徴収する期を設定する。 ※期別番号の値の範囲は以下の通りである。 ・特徴(定期):01~06 ・普徴(定期):01~12 ・普徴(随時期):13~99	01	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
5	入力年月日	X	8					処分を入力した年月日を西暦で設定する。	20120228	
6	処分内容	N	100	○				保険料に関する処分の内容を設定する。	督促状を送付。	
7	賦課管理番号	X	2			○		後期広域連合側で付番された賦課管理番号を設定する。	01	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用



データ項目一覧表	業務名				移行ファイル名		バージョン
	後期高齢者医療				徴収猶予情報ファイル		V2.7

No.	データ項目名称	データ型	桁数	外字 使用	コード	必須○ ／任意 [空白]	繰り返し [2桁以上の理 含のみ記載]	項目説明	サンプル値	備考
1	被保険者番号	X	8			○		被保険者番号を設定する。	12345678	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
2	相当年度	X	4			○		賦課の対象となる年度(西暦4桁)を設定する	2012	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用
3	徴収猶予区分	X	1		徴収猶予区分	○		徴収猶予申請・決定の状況を管理する区分を設定する。	2	
4	徴収猶予事由	N	100					徴収猶予となる事由を設定する。	自己都合による徴収猶予	
5	徴収猶予開始年月日	X	8			○		徴収猶予の開始年月日を西暦で設定する。	20120401	
6	徴収猶予終了年月日	X	8			○		徴収猶予の終了年月日を西暦で設定する。	20130331	
7	賦課管理番号	X	2			○		後期広域連合側で付番された賦課管理番号を設定する。	02	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書システム仕様編のデータ項目を引用

データ項目一覧表	業務名					移行ファイル名		バージョン
	後期高齢者医療					特別徴収該当者情報ファイル		V2.7

No.	データ項目名称	データ型	桁数	外字使用	コード	必須○ /任意 [空白]	繰り返し [2桁以上の埋 入のみ記載]	項目説明	サンプル値	備考
1	相当年度	X	4			○		年金保険者での捕捉年月を基準とした年度を設定する。 ※捕捉年月の年度(月<4なら捕捉年-1、月≥4なら捕捉年)	2012	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書シ テム仕様書のデータ項目を引用
2	捕捉年月	X	6			○		年金保険者で特徴対象候補として捕捉された年月を設定する。	201204	
3	特徴開始年月	X	6			○		年金保険者で年金天引きが行われる開始年月を設定する。	201210	
4	被保険者番号	X	8			○		特別徴収の該当者の被保険者番号を設定する。 ※既に、特別徴収が停止となっている場合も設定する。	12345678	
5	基礎年金番号	X	10			○		特別徴収対象者情報または特別徴収追加候補者情報の「基礎年金番号」を設 定を設定する。	2345678901	
6	年金コード	X	4		年金コード	○		特別徴収対象者情報または特別徴収追加候補者情報の「年金コード」を設定 する。	0120	
7	賦課管理番号	X	2			○		後期広域連合側で付番された賦課管理番号を設定する。	02	後期高齢者医療広域連合電算システム仕様書シ テム仕様書のデータ項目を引用
8	レコード区分	X	1		レコード区分	○		特別徴収対象者情報または特別徴収追加候補者情報の「レコード区分」を設 定。	2	
9	回送市町村コード	X	5			○		特別徴収対象者情報または特別徴収追加候補者情報の「市町村コード」を設 定。	56789	
10	特別徴収義務者コード	X	3		特別徴収義務者 コード	○		特別徴収対象者情報または特別徴収追加候補者情報の「特別徴収義務者 コード」を設定	501	
11	通知内容コード	X	2		通知内容コード	○		特別徴収対象者情報または特別徴収追加候補者情報の「通知内容コード」を 設定。	00	
12	予備1	X	1			○		特別徴収対象者情報または特別徴収追加候補者情報の「予備」を設定。		
13	特別徴収制度コード	X	1		特別徴収制度 コード	○		特別徴収対象者情報または特別徴収追加候補者情報の「特別徴収制度コー ド」を設定。	2	
14	作成年月日	X	8			○		特別徴収対象者情報または特別徴収追加候補者情報の「作成年月日」を設 定。	20120101	
15	基礎年金番号	X	10			○		特別徴収対象者情報または特別徴収追加候補者情報の「基礎年金番号」を設 定。	2345678901	
16	年金コード	X	4		年金コード	○		特別徴収対象者情報または特別徴収追加候補者情報の「年金コード」を設定。	0120	
17	予備2	X	3			○		特別徴収対象者情報または特別徴収追加候補者情報の「予備」を設定。		
18	生年月日	X	8			○		特別徴収対象者情報または特別徴収追加候補者情報の「生年月日」を設定。	19350101	
19	性別コード	X	1		性別コード(年金)	○		特別徴収対象者情報または特別徴収追加候補者情報の「性別」を設定。	1	
20	氏名カナ	X	25			○		特別徴収対象者情報または特別徴収追加候補者情報の「氏名(カナ)」を設 定。	サウ タロウ	
21	氏名シフトコード1	X	3			○		特別徴収対象者情報または特別徴収追加候補者情報の「氏名シフトコード」を 設定。	111	
22	氏名	N	25			○		特別徴収対象者情報または特別徴収追加候補者情報の「氏名(漢字)」を設 定。	佐藤 太郎	
23	氏名シフトコード2	X	3			○		特別徴収対象者情報または特別徴収追加候補者情報の「氏名シフトコード」を 設定。	222	
24	郵便番号	X	7			○		特別徴収対象者情報または特別徴収追加候補者情報の「郵便番号」を設定。	1020072	
25	住所カナ	X	80			○		特別徴収対象者情報または特別徴収追加候補者情報の「住所(カナ)」を設 定。	トウキョウトヨコグワイダバシ1-1-1	
26	住所シフトコード1	X	3			○		特別徴収対象者情報または特別徴収追加候補者情報の「住所シフトコード」を 設定。	111	
27	住所	N	80			○		特別徴収対象者情報または特別徴収追加候補者情報の「住所(漢字)」を設 定。	東京都千代田区飯田橋1-1-1	
28	住所シフトコード2	X	3			○		特別徴収対象者情報または特別徴収追加候補者情報の「住所シフトコード」を 設定。	222	

データ項目一覧表	業務名				移行ファイル名		バージョン
	後期高齢者医療				特別徴収該当者情報ファイル		V2.7

No.	データ項目名称	データ型	桁数	外字使用	コード	必須○ ／任意 [空白]	繰り返し [2桁以上の理 念のみ記載]	項目説明	サンプル値	備考
29	各種区分	X	2		各種区分(特別徴収対象者情報) 各種区分(特別徴収追加候補者情報) 各種区分(資格喪失等通知) 各種区分(仮徴収額変更通知) 各種区分(住所地特例該当通知)	○		特別徴収対象者情報または特別徴収追加候補者情報の「各種区分」を設定。	01	
30	処理結果	X	2			○		特別徴収対象者情報または特別徴収追加候補者情報の「処理結果」を設定。 全桁「0」を設定する。	00	
31	後期移管コード	X	1		後期移管コード	○		特別徴収対象者情報または特別徴収追加候補者情報の「後期移管コード」を設定。	0	
32	各種年月日	X	8			○		特別徴収対象者情報または特別徴収追加候補者情報の「各種年月日」を設定。	20120201	
33	各種金額1	X	11			○		介護支払回数割保険料額を設定	00000010000	厚生労働省 統一フォーマット「特別徴収に係る市区町村内部のシステム連携について(参考資料)」
34	各種金額2	X	11			○		特別徴収対象者情報または特別徴収追加候補者情報の「各種金額欄 金額2」を設定。	00000020000	
35	各種金額3	X	11			○		特別徴収対象者情報または特別徴収追加候補者情報の「各種金額欄 金額3」を設定。	00000030000	
36	予備3	X	58			○		特別徴収対象者情報または特別徴収追加候補者情報の「予備」を設定。		
37	共済年金証書記号番号	X	15			○		特別徴収対象者情報または特別徴収追加候補者情報の「共済年金証書記号番号」を設定。	345678901234567	
38	介護被保険者番号	X	10			○		介護保険の被保険者番号	1234567890	厚生労働省 統一フォーマット「特別徴収に係る市区町村内部のシステム連携について(参考資料)」
39	個人コード_区分	X	1		個人区分コード(年金)	○		住基、外国人、住登外の識別	1	厚生労働省 統一フォーマット「特別徴収に係る市区町村内部のシステム連携について(参考資料)」
40	個人コード_宛名番号	X	16			○		介護保険の宛名番号	1234567890000001	厚生労働省 統一フォーマット「特別徴収に係る市区町村内部のシステム連携について(参考資料)」
41	介護住所地特例	X	1		介護住所地特例フラグ	○		介護保険で住所地特例かどうかを識別	1	厚生労働省 統一フォーマット「特別徴収に係る市区町村内部のシステム連携について(参考資料)」
42	介護捕捉年月日	X	8			○		介護保険の捕捉年月日	20120229	厚生労働省 統一フォーマット「特別徴収に係る市区町村内部のシステム連携について(参考資料)」
43	介護待機フラグ	X	1		介護待機フラグ	○		特徴依頼処理を待機するかどうかを識別 ※4: 6月、8月捕捉分を10月捕捉の処理時期まで待機する際に、1を設定。	0	厚生労働省 統一フォーマット「特別徴収に係る市区町村内部のシステム連携について(参考資料)」
44	介護予備	X	13			○		予備		厚生労働省 統一フォーマット「特別徴収に係る市区町村内部のシステム連携について(参考資料)」